

サーモウール / パワーマックス

# 施工方法 防露対策（防湿層不要例）のご案内

## 東京本社

〒160-0023  
東京都新宿区西新宿 6-15-1  
セントラルパークタワー 3317  
TEL 03-5909-3218 FAX 03-5909-3318

## 長野支社

〒399-0212  
長野県諏訪郡富士見町立沢 1-554  
TEL 0266-66-2191 FAX 0266-66-2391

## 福岡支社・工場

〒832-0089  
福岡県柳川市田脇 339-3  
TEL 0944-74-6088 FAX 0944-85-2868

URL [www.cosmo-project.co.jp](http://www.cosmo-project.co.jp)  
E-mail [info@cosmo-project.co.jp](mailto:info@cosmo-project.co.jp)



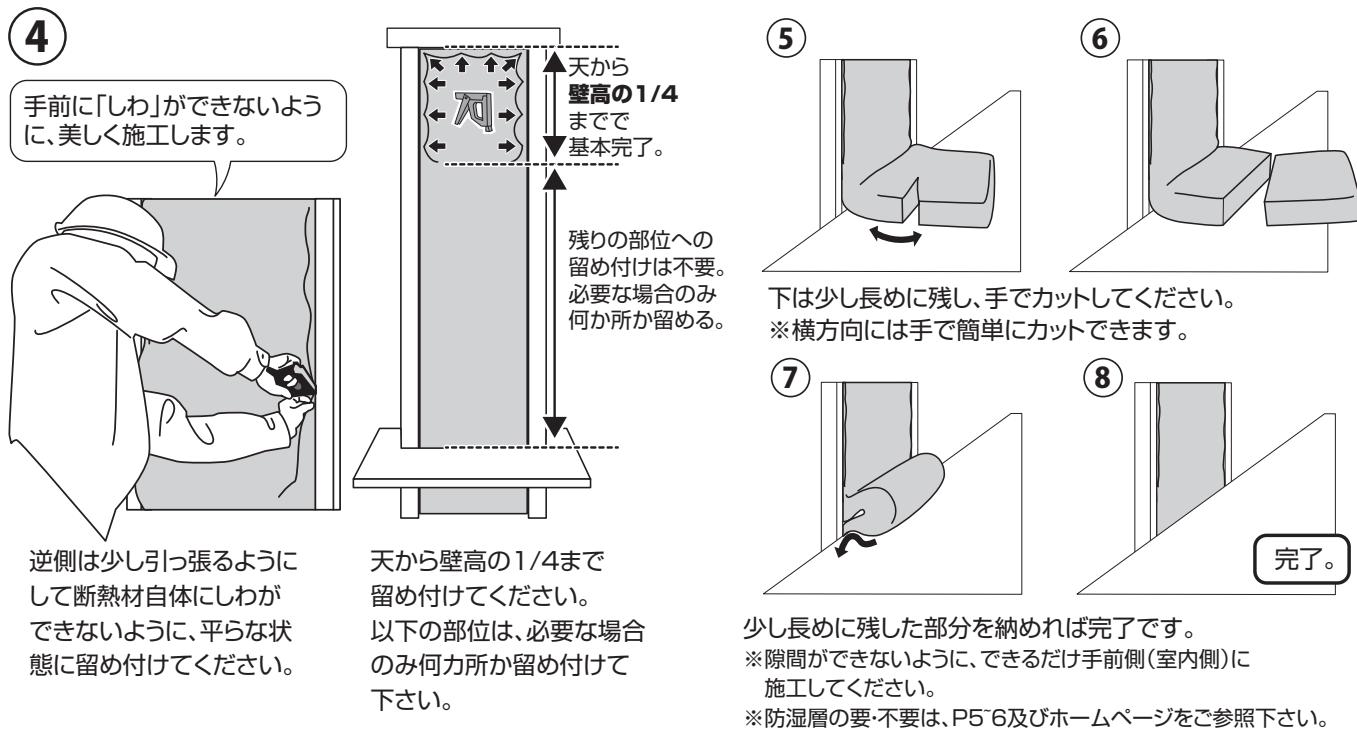
サーモウール®  
セーフティー断熱材  
パワーマックス®

## 施工方法

### ■計測と切り分け

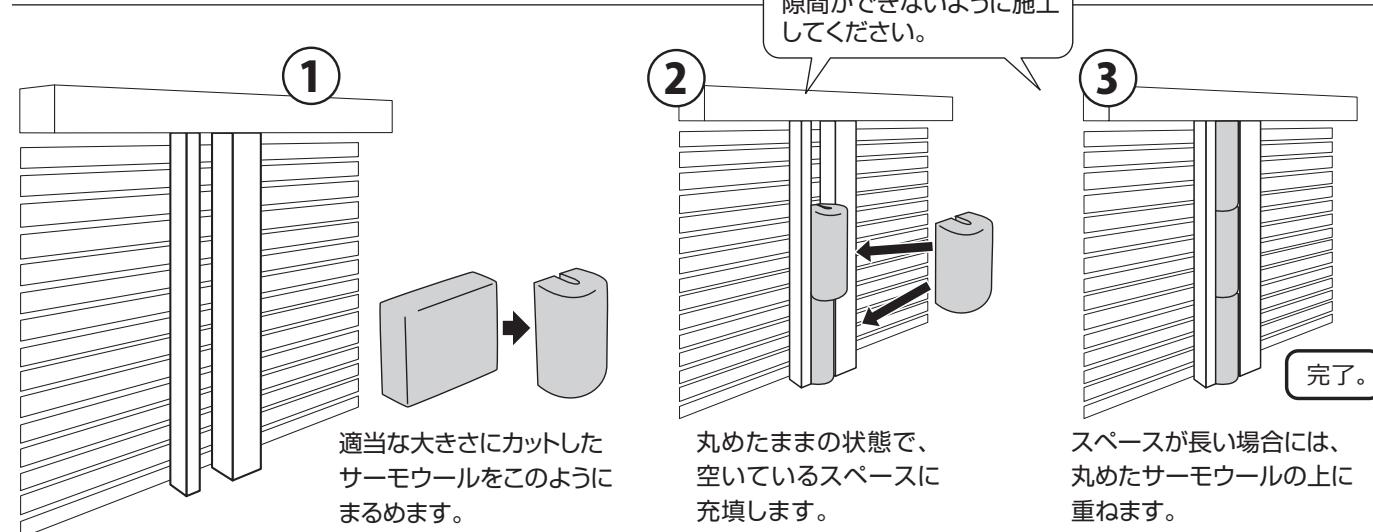


### ■基本施工:壁への取り付け(在来工法の場合)

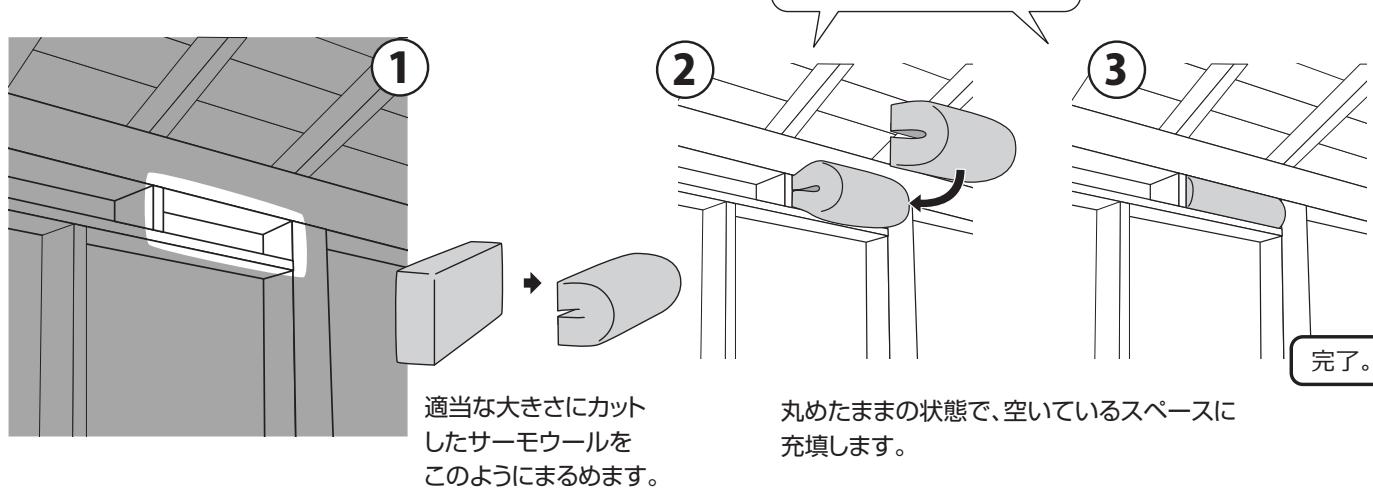


【※柱～間柱の間など、間くずれしている箇所は、片側を外壁側に丸め込んで留め付けてください。】

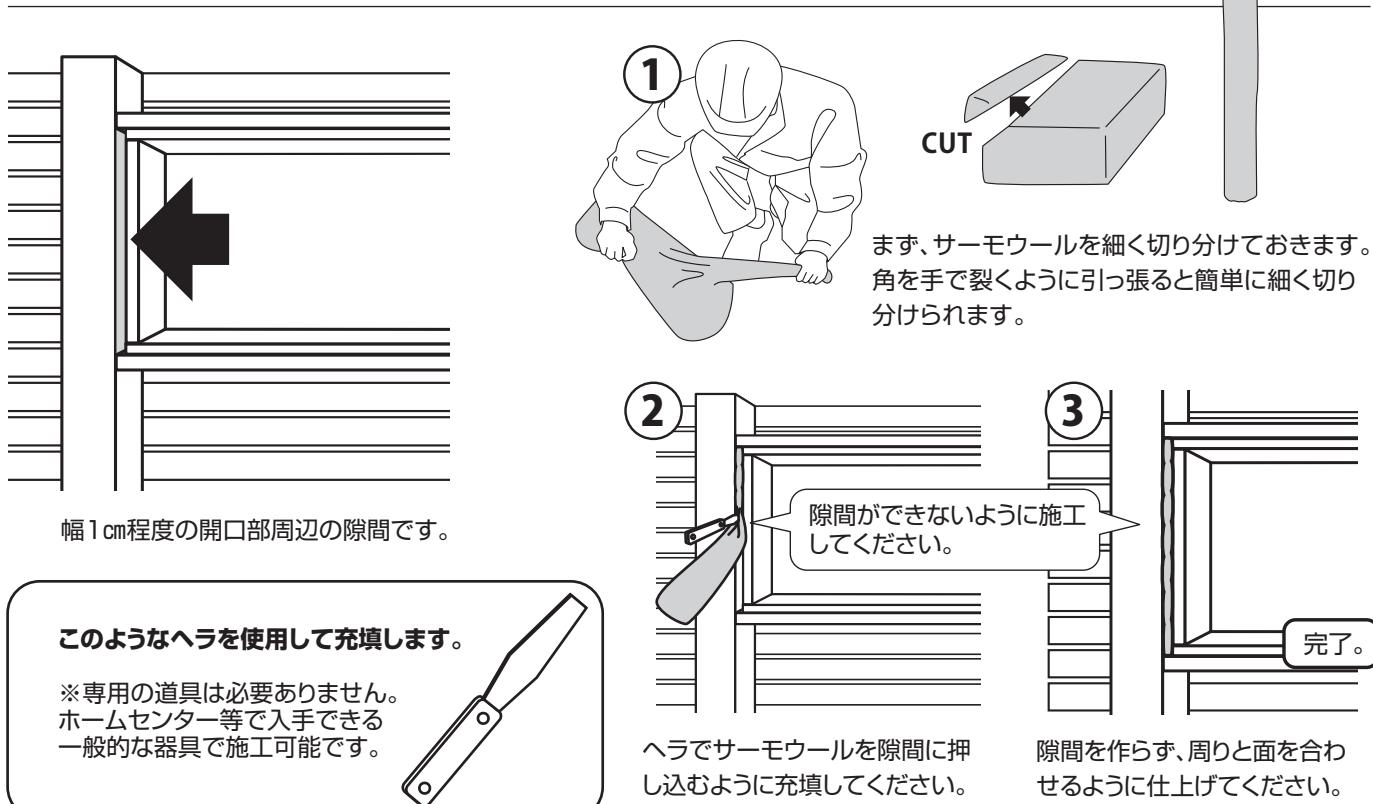
### ■小さな縦長スペースへの施工



### ■小さな横長スペースへの施工



### ■隙間への施工



## 施工方法

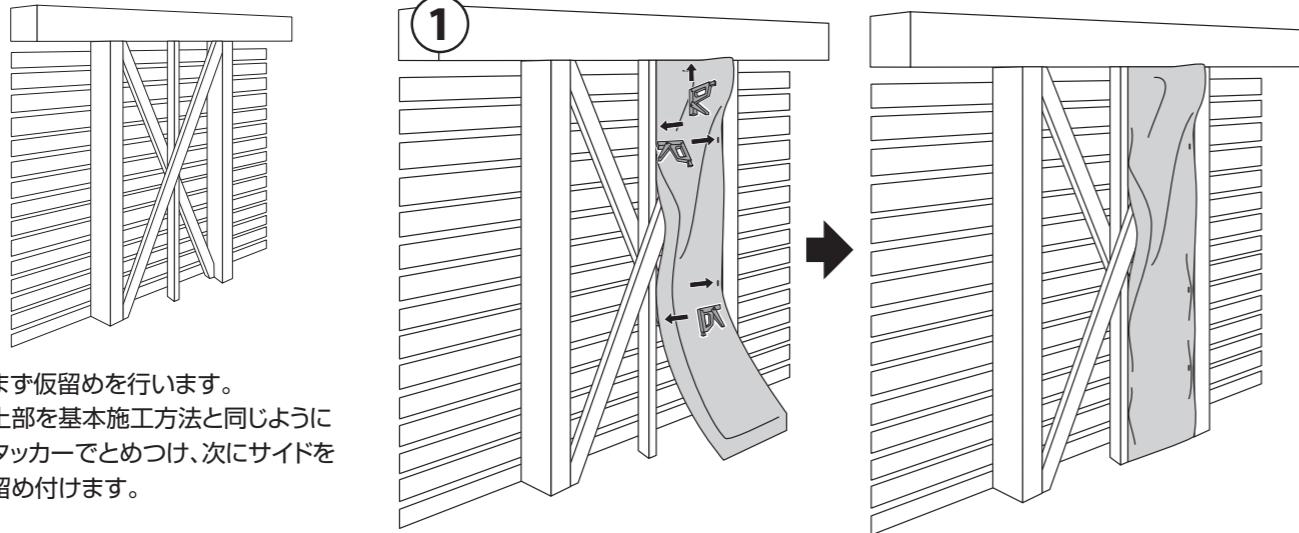
### ■コンセントボックス周りへの施工



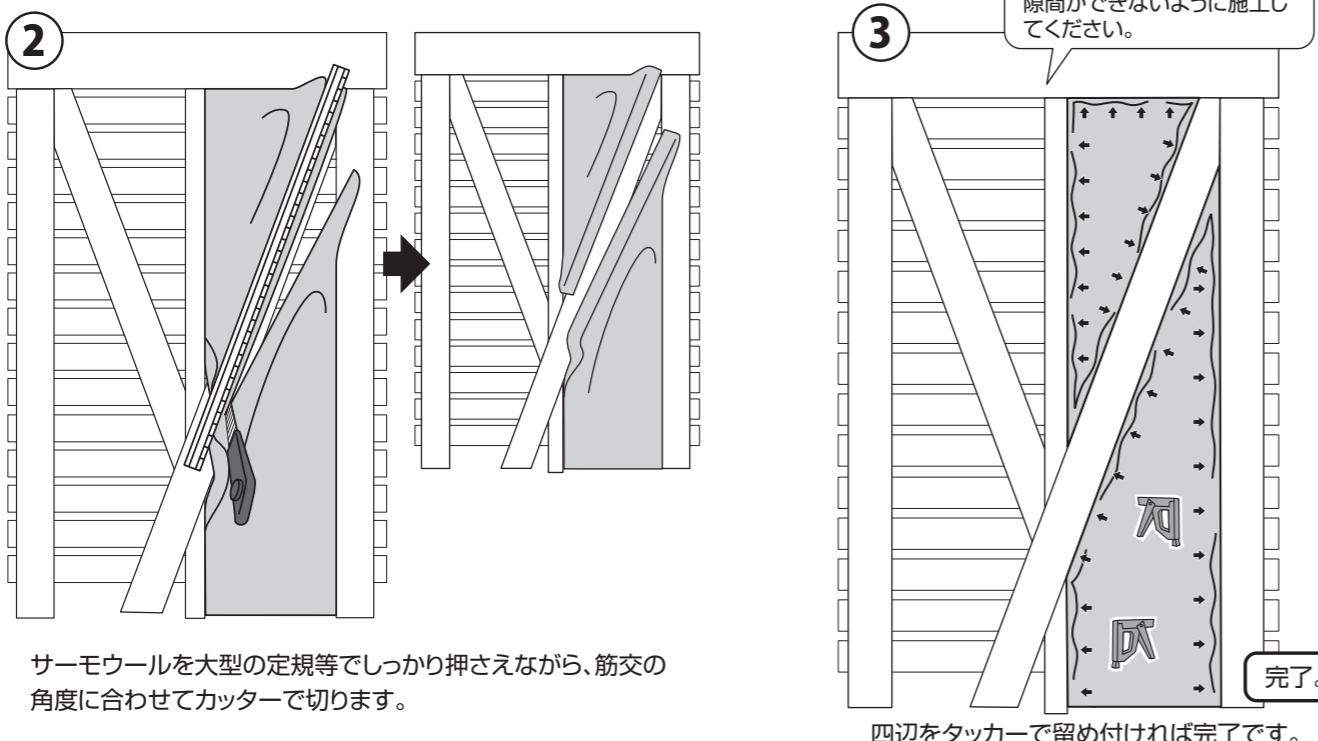
コンセントボックスの裏側に  
小さくカットしたサーモウールを充填しておきます。

小さくカットしたサーモウールの上から、全面用にカットしたサーモウールを覆いかぶせるよう  
にしつつ、コンセントボックスを上から下へ回り込む形で包むように留め付けてください。  
※コンセントボックスにはタッカーを撃ち込まないようにしてください。

### ■ダブルの筋交への施工

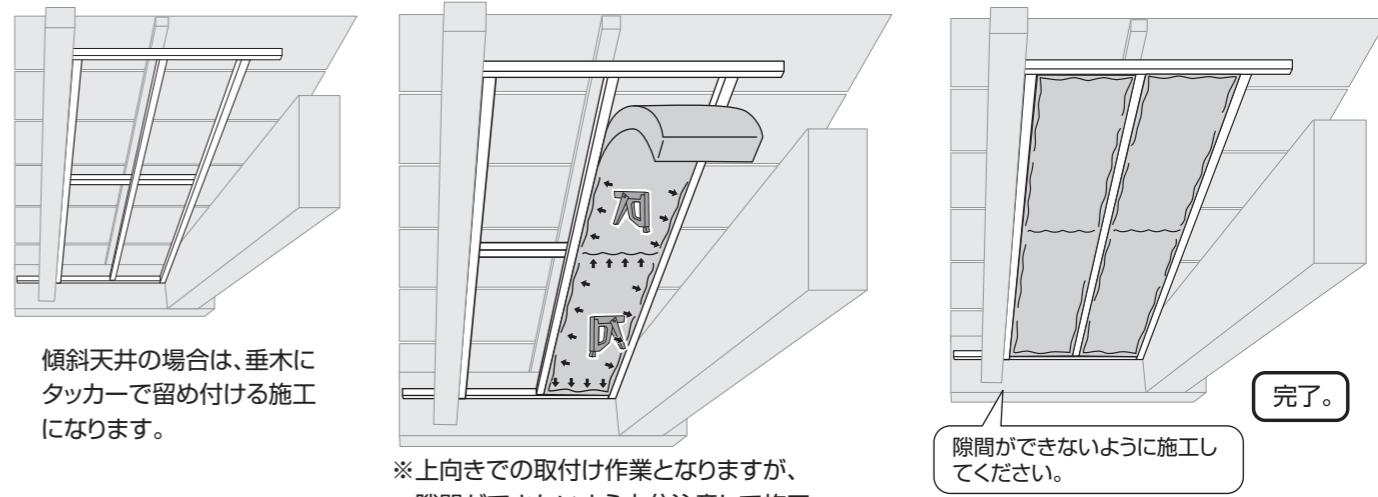


まず仮留めを行います。  
上部を基本施工方法と同じように  
タッカーでとめつけ、次にサイドを  
留め付けます。



サーモウールを大型の定規等でしっかりと押さえながら、筋交の  
角度に合わせてカッターで切れます。

### ■傾斜天井への施工

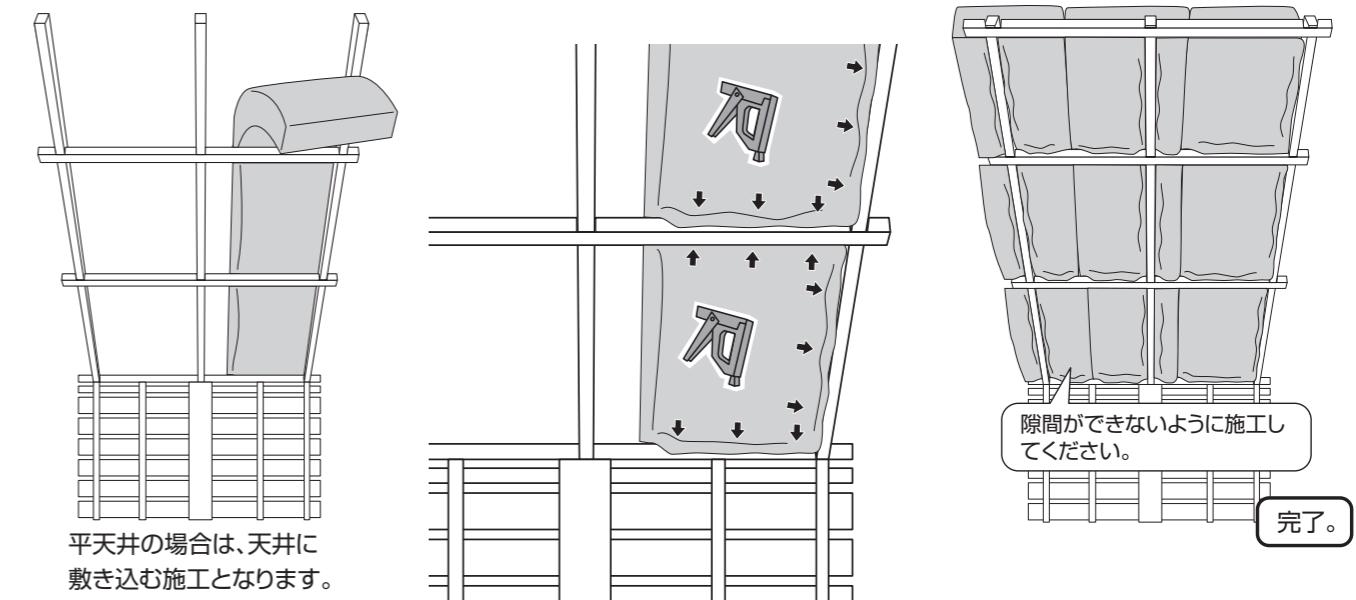


傾斜天井の場合は、垂木に  
タッカーで留め付ける施工  
になります。

※上向きでの取付け作業となりますが、  
隙間ができるないように十分注意して施工  
してください。

完了。

### ■平天井への施工



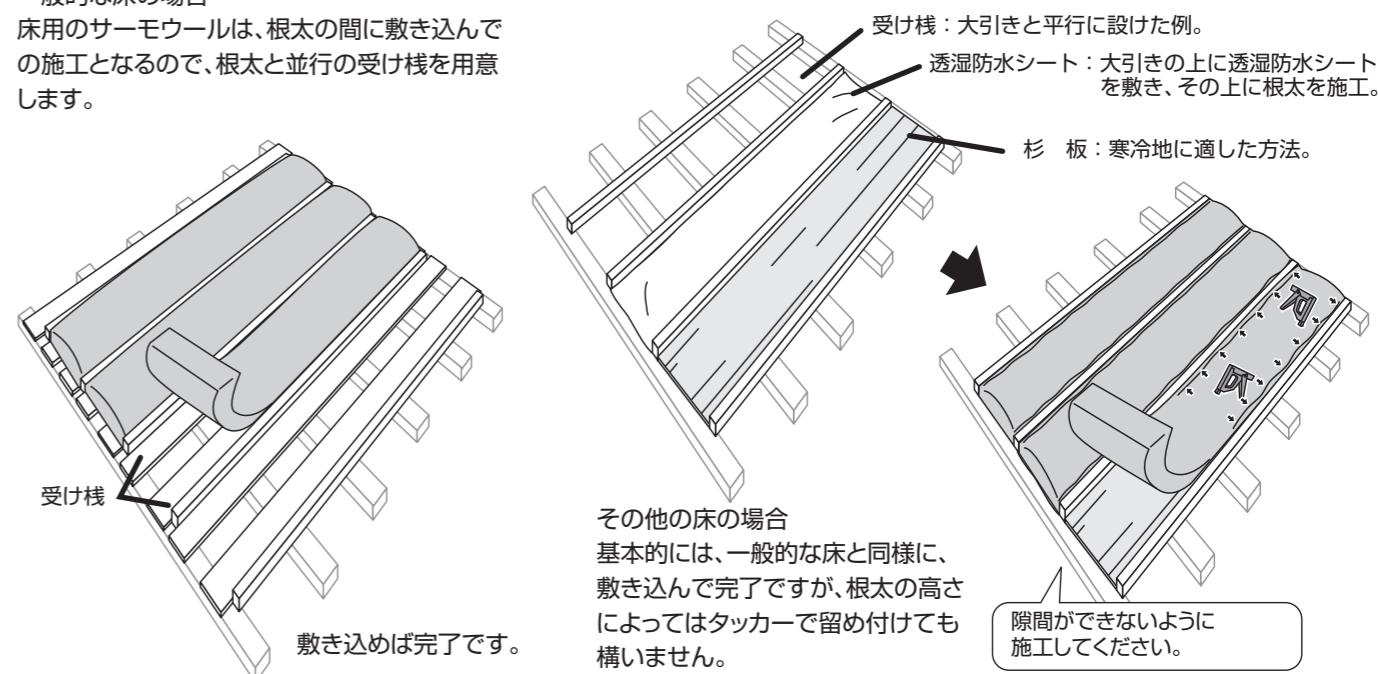
平天井の場合は、天井に  
敷き込む施工となります。

隙間ができるないように施工し  
てください。

完了。

### ■床への施工

一般的な床の場合  
床用のサーモウールは、根太の間に敷き込んで  
の施工となるので、根太と並行の受け棟を用意  
します。



受け棟  
透湿防水シート  
杉板  
敷き込めば完了です。

その他の床の場合  
基本的に、一般的な床と同様に、  
敷き込んで完了ですが、根太の高さ  
によってはタッカーで留め付けても  
構いません。

隙間ができるないように  
施工してください。

# サーモウール・パワーマックスを使用しての 防露対策（防湿層不要例）のご案内

省エネルギー法では繊維系断熱材は、防湿層（シート）の施工が原則として必要となります。サーモウール・パワーマックスの場合は、防湿層を施工せずに使用する方が特性である温度の移動・調整能力をより活かすことが出来ます。これまでに取得した特別評価方法認定（防露認定：サーモウールのみ）のご利用をご案内しておりましたが、その他に定常防露判定（一次元定常計算による防露性能計算）の結果により防湿層を省略することが出来ます。下記にその一例をご紹介いたします。

※特別評価方法認定の詳細は弊社までお問い合わせください。

## 防湿層の施工を省略できる構成事例（構成イメージは右ページをご覧ください。）

### 事例1 壁構成（面材なし）

石膏ボード（12.5mm）+ サーモウール / パワーマックス タイプB（105mm）  
+ 透湿防水シート + 通気層・外壁材

■定常防露判定：全地域で省略可能

※I地域の一部地域は2重充填（210mm）が必要

### 事例2 壁構成（面材あり）

石膏ボード（12.5mm）+ サーモウール / パワーマックス タイプB（105mm）  
+ ダイライト（9ミリ）+ 透湿防水シート + 通気層・外壁材  
■定常防露判定：III地域の一部～V地域で省略可能

### 事例3 壁構成（面材あり）

石膏ボード（12.5mm）+ サーモウール / パワーマックス タイプB（105mm）  
+ 合板（12ミリ）+ 透湿防水シート + 通気層・外壁材  
■定常防露判定：IV地域の一部～V地域で省略可能

### 事例4 天井構成（小屋裏換気が必須）

石膏ボード（12.5mm）+ サーモウール / パワーマックス タイプB（2重充填：210mm）  
(断熱材より上の空間は通気層と同等の扱いとなります)

■定常防露判定：全地域で省略可能

※I地域の一部地域は3重充填（315mm）が必要

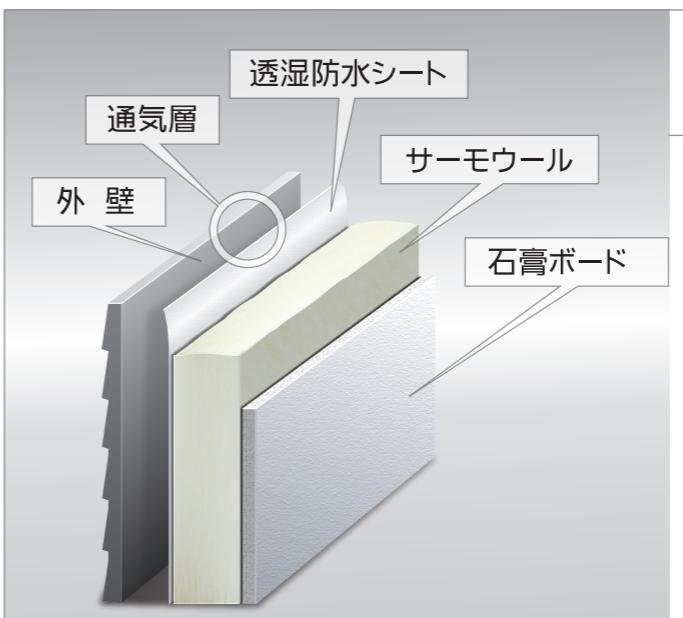
※上記の例以外にも使用される構成材の種類や厚み・建設地域により防湿層の施工を省略できます。  
テスト計算も承りますので、詳しくは弊社各拠点までお問い合わせください。

## 防湿層の施工を省略できる条件

1. 断熱層が透湿抵抗の高い単一のプラスチック系断熱材で施工された場合
2. 地域の区分がVI地域である場合
3. コンクリート躯体又は土塗り壁の外断熱工法の場合
4. 床断熱において、断熱層下側が湿気の排出を妨げない構成の場合
5. 透湿抵抗比が規定値以上の場合
6. 定常、非定常防露判定により防露性能が確認された場合

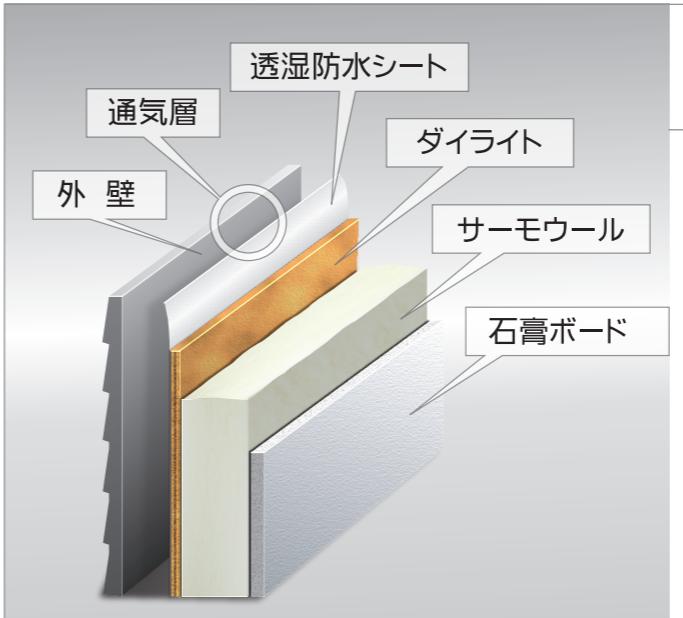
（上記事例は6の要件を満たす内容となります。）

## 防湿層の施工を省略できる構成事例（構成詳細は左ページをご覧ください。）



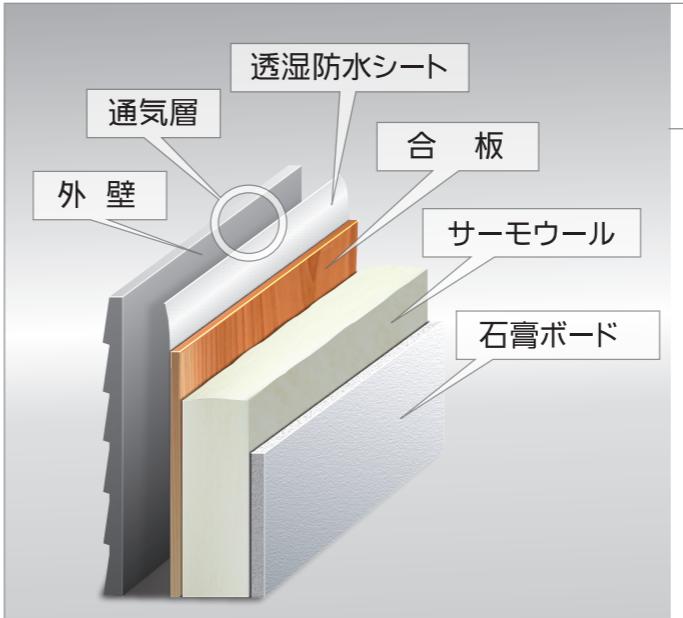
### 事例1 壁構成（面材なし）

石膏ボード  
+  
サーモウール /  
パワーマックス タイプB  
+  
透湿防水シート  
+  
通気層・外壁材



### 事例2 壁構成（面材あり）

石膏ボード  
+  
サーモウール /  
パワーマックス タイプB  
+  
ダイライト  
+  
透湿防水シート  
+  
通気層・外壁材



### 事例3 壁構成（面材あり）

石膏ボード  
+  
サーモウール /  
パワーマックス タイプB  
+  
合板  
+  
透湿防水シート  
+  
通気層・外壁材